

自由民主党総裁	安倍 晋三 殿
公明党代表	山口那津男 殿
日本を元気にする会代表	松井 公太 殿
次世代の党党首	平沼 赳夫 殿
新党改革代表	荒井 広幸 殿

## 戦争法案成立に抗議する

貴党らは、参議院本会議で、戦争法案(安全保障関連法案)を強行採決した。

同法案は集団的自衛権の行使を容認して、政府の判断によって自衛隊を海外に派遣し他国の軍事行動と一体となる活動を行うことに道を開くものであり、国際紛争の解決の手段として武力行使を許さないと規定する憲法9条に明らかに違反し、政府の行為によりわが国をすすんで戦争に巻き込むことを可能にする「戦争法」そのものである。また同法案は、憲法改正の手続きを踏むことなく、憲法9条の実質的改正を行おうとするものであって、立憲主義を否定する法案である。

同法案の問題点は国会で議論をすればするほどに明らかとなり、圧倒的多数の憲法学者・弁護士・弁護士会、歴代の内閣法制局長官、元最高裁判所長官を含む元裁判官等、あらゆる法律専門家が同法案は違憲であると断じ、法律専門家以外の研究者・大学人等からも、この法案の成立に反対する声明が出された。世論調査でも過半数が法案に反対し、また圧倒的多数が、政府の説明不足を指摘し、本国会での成立に反対との結果が出ていた。国会会期中、国会前で連日行われた反対集会には毎回万単位の人数の市民が参加し、全国各地で行われた集会の回数、参加人数は数えることもできない。

これら、国民各階層からわき上がった圧倒的な反対を押し切り、議会内での多数のみを拠り所として違憲法案を成立させた貴党らの行為は断じて許されない。

貴党らは、法案に国民の声を反映するべき中央・地方の公聴会の陳述を一顧だにすることなく、時を重ねるごとに高まる反対意見から逃げるように強行採決を行った。しかし法案成立後は、戦争法案を廃止し集団的自衛権容認の閣議決定撤回をして、安倍内閣により傷つけられた立憲主義の回復を求める国民世論が形成されつつある。憲法訴訟の提起や、本法案に賛成した議員に対する落選運動、その他あらゆる手段を講じて立憲主義の回復をめざす運動は今始まったばかりである。

当会は非核の政府を求める会であり、平和憲法の理念を国政に生かすことを求める。平和憲法の理念を蹂躪する安倍内閣及び貴党らの今回の行為を許さず、安倍内閣打倒・戦争法の即時廃止・集団的自衛権容認撤回を求める国民各層の運動と連帯する所存である。

2015年9月25日

非核の政府を求める大阪の会  
事務局長 豊島達哉